



写真は標準キャブ・セミロングデッキ・高床・3.0トン積・ディーゼル車。「S パッケージ」装着車。ボディカラーはブルー<8P0>。車種番号 175 ■写真は合成です。

トラックづくりのすべてにわたって、環境への配慮を徹底。

トヨタがめざす「トータルクリーン」

トヨタは「トータルクリーン」を基本理念に、環境に配慮したクルマづくりを進めています。生産から廃棄にいたるトータルライフの視点により、環境への取り組みのひとつひとつをすべての過程で連携。さまざまな環境目標をバランスを取りながら達成することで、総合的に環境性能の向上を図り、クリーンなクルマづくりをめざします。

地球温暖化対策の実施

- 温室効果ガスであるCO₂排出量の低減をめざして、軽量・高効率なエンジンを搭載。また、ハイブリッドシステムの採用などにより、優れた低燃費を達成しています。
- エアコンの冷媒充填量を低減しています。

環境負荷物質の削減

鉛、水銀、カドミウム、六価クロムを削減し、業界目標を達成しています。

VOC^{※1}の低減を推進しています。

内装部品の素材、加工法、接着剤の見直しにより、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエンなどの揮発性有機化合物（VOC）の発生量を抑制。車室内の臭いや刺激臭を軽減するとともに、厚生労働省が定めている「室内濃度指針値」を下回るレベルとし、業界自主目標を達成しています。

LCA（ライフサイクルアセスメント）^{※2}の実施

走行段階だけでなく、トラックの生産・使用から最終的に廃棄するまでの全ライフサイクルで、環境への負荷を把握するのがLCA（ライフサイクルアセスメント）。トヨタでは、その観点から、排出するCO₂やその他の大気汚染物質の総量を従来型車に比べて低減しています。



都市環境のクリーン化に配慮

ディーゼル車は新高性能触媒DPR・DPR-IIなどの採用により、排出ガスのクリーン化を推進。その結果、「平成22年（ポスト新長期）排出ガス規制」「平成28年（ポスト・ポスト新長期）排出ガス規制」に適合しています。

リサイクル性の向上へ

インストルメントパネルやメータークラスター、グローブボックスドアなど内装部品にリサイクル性に優れた樹脂TSOP^{※4}を使用しています。

※1. VOC: Volatile Organic Compounds
 ※2. LCA: Life Cycle Assessment。資源採取～廃棄・リサイクルまでの各段階で、クルマが環境に与える要因を定量化し、総合評価する手法で、ISO14040シリーズで国際標準化されています。
 ※3. Eco-VAS [エコパス]: Eco-Vehicle Assessment System。車両開発責任者が企画段階で生産、使用、廃棄にいたるLCA（ライフサイクルアセスメント）の考え方を踏まえた環境目標値を設定。全開発プロセスを通じて目標達成状況をフォローして、確実な達成を図る総合的な環境評価システムです。 ※4. TSOP: Toyota Super Olefin Polymer

トヨタトヨエース環境仕様

車両仕様	車両		ディーゼル車							LPG車				
			DPR搭載車						ハイブリッド車	1BZ-FPE				
	型式		N04C-UM	N04C-UN	N04C-UP	N04C-UQ	N04C-VT	N04C-VU	N04C-UL					
エンジン	総排気量 (L)		4.009							4.009	4.104			
	使用燃料		軽油							軽油	LPG			
駆動装置	駆動方式		2WD	2WD/4WD	2WD	2WD/4WD	2WD	2WD	2WD	2WD	2WD			
	変速機		5MT-6AT	5MT-6MT	6AT	5MT-6MT	6AT	6MT	6MT-6AT	6MT	5AMT	6AMT	5MT	
CO ₂ 排出量 (g/km)	車両総重量	3.5トン超	1.5トン超2.0トン以下	249	249	235	249	231	259	—	—	212	196	275
		7.5トン以下	2.0トン超3.0トン以下	—	269	254	269	254	281	—	—	223	209	295
		7.5トン超	3.0トン超4.0トン以下	—	—	—	315	—	340	—	—	—	249	—
		8.0トン以下	—	—	—	—	—	—	—	354	—	—	—	—
排出ガス	適合規制		平成22年（ポスト新長期）排出ガス規制 [規制値に対しNOx▲10%かつPM▲10%]				平成28年（ポスト・ポスト新長期） 排出ガス規制※5		平成22年（ポスト新長期）排出ガス規制 [規制値に対しNOx▲10%かつPM▲10%]		平成17年規制			
	JE05モード 認定レベル g/kWh	NOx	0.63				0.4		0.63		0.7			
		NMHC	0.17				0.17		0.17		0.23			
		P M	0.009				0.010		0.009		—			
車外騒音（加速・定常・近接）	(dB)	79 (4WDは80) / 76 / 95				77 / — / 83		77 / — / 85		79 / 76 / 95				
冷媒の種類	HFC-134a/使用量 (g)	標準キャブ※6	400/800	400/550/800	550/650	—	550/650	—	—	550/650	—	550/650	650	
	ワイドキャブ※7	—	—	500/850	500/400	—	400	—	500/400	400	—	500	—	
環境負荷物質削減	鉛		自工会2006年自主目標達成（1996年時点の1/10以下※8）											
	水銀		自工会自主目標達成（2005年1月以降使用禁止※9）											
	カドミウム		自工会自主目標達成（2007年1月以降使用禁止）											
	六価クロム		自工会自主目標達成（2008年1月以降使用禁止）											
車室内VOC		自工会自主目標達成												
リサイクル関係	リサイクルしやすい材料 (TSOP) を使用した部品	インストルメントパネル、メータークラスター、グローブボックスドア、フロアコンソール、クォーターリムボードなど												
	樹脂、ゴム部品への材料表示	あり												

※5. WHDCモード ※6. リヤクーラー付は800g、サブコンデンサー付は650g、N04C-UNの4WDは550g。 ※7. リヤクーラー付は850g、N04C-UP・N04C-VTの4WDは400g。
 ※8. 1996年乗用車の業界平均1,850g（バッテリーを除く）。 ※9. 交通安全の観点で使用される部品（ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージランプ、室内蛍光灯）を除く。